

港湾空港局

一般会計要求総額

8,312 百万円 (前年度比+27.0%)

特別会計要求総額

15,452 百万円 (前年度比+39.9%)

〔要求の基本的考え方〕

以下の3つの柱を基にして、「元気発進！北九州」プランの着実な実現と、「緑の成長戦略で、人にやさしく元気なまちづくり！」を確実に具体化していきます。

- 1 北九州港～長期構想「アジア・グリーンポート構想」の推進
- 2 北九州空港～路線誘致・利用促進と航空貨物拠点化の推進
- 3 港湾整備特別会計～経営健全化の着実な推進



(釜山線就航予定のスターフライヤー)



(RORO 船への貨物積み込み)

(主な事業)

要求額 (百万円)

1 北九州港 ～ 長期構想「アジア・グリーンポート構想」の推進

平成23年5月に、北九州港の概ね20～30年後の将来の姿やそれを実現するための施策の方向性を示した「アジアグリーンポート構想」を策定しました。本市の最大の強みでもある「環境力」と充実した物流基盤が支える「港湾力」により、アジアの国際拠点港湾を目指していきます。

(継続) 魅力ある海辺づくりの推進	15
(拡充) 国際RORO航路誘致事業	20 (うち拡充分14)
(拡充) グリーンエネルギーポートひびき立地促進事業	29 (うち拡充分21)
(継続) アジア貨物等物流拠点化効果促進事業	10
(新規) 北九州港海岸防災推進事業	15
(新規) 奥洞海航路浚渫事業	729
(継続) 旧大連航路上屋改修事業	533

2 北九州空港 ～ 路線誘致・利用促進と航空貨物拠点化の推進

新規就航予定の旅客国際定期便の定着へ向け、路線周知のためのPR活動等を集中的に行うとともに、既存路線の安定化のため、集客活動や空港アクセスの検討を行います。北九州空港の24時間発着可能という特長を活かし、航空貨物の拠点化に向け、滑走路延伸を見据えた航空貨物の更なる実績づくりに力を入れます。

(拡充) 北九州空港航空貨物拠点化事業	217 (うち拡充分45)
(拡充) 北九州空港路線誘致事業	186 (うち拡充分134)
(新規) 市制50周年記念 北九州空港チャーター便事業	22

3 港湾整備特別会計 ～ 経営健全化の着実な推進

埋立分譲地の売却不振や地価下落等により、独立採算の維持が困難となっている「港湾整備特別会計」について、平成22年7月にとりまとめた「経営健全化策」を着実に推進していきます。

- I 埋立分譲地売却の促進 II 集荷・倉貨の促進 III 事業費等の節減
IV 「臨海部産業用地貸付特別会計」への分譲地売却